

平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 徳島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	三好病院	3
-	海部病院	4
徳島市	徳島市民病院	5
三好市	三野病院	6
勝浦町	国保勝浦病院	7
那賀町	那賀町立上那賀病院	8
美波町	国保美波病院	9
海陽町	海南病院	10
つるぎ町	つるぎ町立半田病院	11

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,059 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
診療科数	25	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	390	83.3	80.6	82.3
療養	-	-	-	-
結核	5	37.3	32.6	27.0
精神	60	62.7	52.8	62.7
感染症	5	16.8	-	8.2
計	460	79.4	75.6	78.3
平均在院日数（一般病床のみ）		9.6	9.3	9.6

設立団体の状況		
人口（人）	755,733	
決算規模（千円）	465,782,307	
標準財政規模（千円）	249,328,919	
財政力指数	0.32641	
経常収支比率（%）	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.1
	将来負担比率（%）	184.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	90.1
修正医業収支金額（千円）	13,616,992

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,529,531			
1 経常収益	16,529,531			
(1) 医業収益	14,182,880			
入院収益	9,885,194			
外来収益	3,346,288			
診療収入計	13,231,482			
その他医業収益	951,398			
(うち他会計負担金)	565,888			
(2) 医業外収益	2,346,651			
(うち国・都道府県補助金)	98,821			
(うち他会計補助・負担金)	1,463,451			
(うち長期前受金戻入)	592,865			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,119,196			
2 経常費用	16,119,196			
(1) 医業費用	15,121,277			
職員給与費	7,619,064	53.7	56.0	54.1
材料費	3,845,772	27.1	24.1	26.3
(うち薬品費)	2,296,560	16.2	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,548,946	10.9	11.1	12.3
減価償却費	1,107,994	7.8	9.2	8.3
経費	2,464,684	17.4	23.2	19.0
(うち委託料)	1,505,889	10.6	11.3	9.1
研究研修費	75,991			
資産減耗費	7,772			
(2) 医業外費用	997,919			
(うち支払利息)	291,546	2.1	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	410,335			
純損益	410,335			
累積欠損金	75,997			
経常収支比率	102.5		98.2	99.3
医業収支比率	93.8		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	12.3		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	90.0		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	41,048,316
1 固定資産	33,493,677
(1) 有形固定資産	32,087,884
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,398,599
2 流動資産	7,554,639
(1) 現金及び預金	3,048,084
(2) 未収金及び未収収益	4,257,667
(3) 貸倒引当金（ ）	18,920
(4) 貯蔵品	236,300
3 繰延資産	-
負債合計	42,253,609
1 固定負債	31,562,202
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,382,058
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	960,000
(5) その他の長期借入金	465,000
(6) 引当金	2,720,015
(7) リース債務	35,129
2 流動負債	6,058,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,268,136
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	643,151
(6) リース債務	21,742
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,763,924
(9) 前受金及び前受収益	2,446
3 繰延収益	4,632,728
(1) 長期前受金	13,793,043
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	9,160,315
資本合計	-1,205,293
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-8,623,626
(1) 資本金剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-9,294,909
負債・資本合計	41,048,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,205,293
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,027,605	2,029,339
資本勘定繰入	368,607	368,607
計	2,396,212	2,397,946

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	47.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	
				病院名	三好病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,511 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
診療科数	17	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	206	65.0	67.8	62.8
療養	-	-	-	-
結核	8	12.1	20.6	29.6
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	220	61.3	64.3	59.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.8	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	755,733	
決算規模(千円)	465,782,307	
標準財政規模(千円)	249,328,919	
財政力指数	0.32641	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	184.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.1
修正医業収支金額(千円)	3,366,470

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,663,938			
1 経常収益	4,663,938			
(1) 医業収益	3,731,553			
入院収益	2,473,712			
外来収益	825,068			
診療収入計	3,298,780			
その他医業収益	432,773			
(うち他会計負担金)	365,083			
(2) 医業外収益	932,385			
(うち国・都道府県補助金)	10,001			
(うち他会計補助・負担金)	503,833			
(うち長期前受金戻入)	372,321			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,365,425			
2 経常費用	5,365,425			
(1) 医業費用	5,092,836			
職員給与費	2,571,099	68.9	56.0	59.3
材料費	754,365	20.2	24.1	19.3
(うち薬品費)	308,675	8.3	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	445,112	11.9	11.1	9.2
減価償却費	626,944	16.8	9.2	10.3
経費	1,112,943	29.8	23.2	27.6
(うち委託料)	602,647	16.2	11.3	12.3
研究研修費	23,868			
資産減耗費	3,617			
(2) 医業外費用	272,589			
(うち支払利息)	43,743	1.2	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-701,487			
純損益	-701,487			
累積欠損金	4,772,642			
経常収支比率	86.9		98.2	96.7
医業収支比率	73.3		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	23.3		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	70.7		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,048,316
1 固定資産	33,493,677
(1) 有形固定資産	32,087,884
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,398,599
2 流動資産	7,554,639
(1) 現金及び預金	3,048,084
(2) 未収金及び未収収益	4,257,667
(3) 貸倒引当金()	18,920
(4) 貯蔵品	236,300
3 繰延資産	-
負債合計	42,253,609
1 固定負債	31,562,202
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,382,058
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	960,000
(5) その他の長期借入金	465,000
(6) 引当金	2,720,015
(7) リース債務	35,129
2 流動負債	6,058,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,268,136
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	643,151
(6) リース債務	21,742
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,763,924
(9) 前受金及び前受収益	2,446
3 繰延収益	4,632,728
(1) 長期前受金	13,793,043
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,160,315
資本合計	-1,205,293
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-8,623,626
(1) 資本金剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-9,294,909
負債・資本合計	41,048,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,205,293
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	868,128	868,916
資本勘定繰入	27,980	27,980
計	896,108	896,896

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	
				病院名	海部病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	23,159 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	8	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	102	63.9	65.4	64.8
療養	-	-	-	-
結核	4	5.4	3.6	8.9
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	110	59.4	60.8	60.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.7	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	755,733	
決算規模(千円)	465,782,307	
標準財政規模(千円)	249,328,919	
財政力指数	0.32641	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	184.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.7
修正医業収支金額(千円)	1,548,129

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,213,283			
1 経常収益	2,213,283			
(1) 医業収益	1,714,974			
入院収益	869,479			
外来収益	629,296			
診療収入計	1,498,775			
その他医業収益	216,199			
(うち他会計負担金)	166,845			
(2) 医業外収益	498,309			
(うち国・都道府県補助金)	1,386			
(うち他会計補助・負担金)	284,038			
(うち長期前受金戻入)	193,272			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,501,464			
2 経常費用	2,501,464			
(1) 医業費用	2,356,182			
職員給与費	1,059,687	61.8	56.0	61.8
材料費	353,990	20.6	24.1	17.7
(うち薬品費)	264,819	15.4	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	89,121	5.2	11.1	8.2
減価償却費	350,566	20.4	9.2	10.4
経費	572,348	33.4	23.2	29.9
(うち委託料)	242,746	14.2	11.3	12.9
研究研修費	8,790			
資産減耗費	10,801			
(2) 医業外費用	145,282			
(うち支払利息)	31,813	1.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-288,181			
純損益	-288,181			
累積欠損金	4,446,270			
経常収支比率	88.5		98.2	96.7
医業収支比率	72.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	20.4		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	26.3		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	20.4		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	70.5		86.0	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,048,316
1 固定資産	33,493,677
(1) 有形固定資産	32,087,884
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,398,599
2 流動資産	7,554,639
(1) 現金及び預金	3,048,084
(2) 未収金及び未収収益	4,257,667
(3) 貸倒引当金()	18,920
(4) 貯蔵品	236,300
3 繰延資産	-
負債合計	42,253,609
1 固定負債	31,562,202
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,382,058
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	960,000
(5) その他の長期借入金	465,000
(6) 引当金	2,720,015
(7) リース債務	35,129
2 流動負債	6,058,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,268,136
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	643,151
(6) リース債務	21,742
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,763,924
(9) 前受金及び前受収益	2,446
3 繰延収益	4,632,728
(1) 長期前受金	13,793,043
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,160,315
資本合計	-1,205,293
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-8,623,626
(1) 資本剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-9,294,909
負債・資本合計	41,048,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,205,293
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	450,450	450,883
資本勘定繰入	51,299	51,299
計	501,749	502,182

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	徳島市
				病院名	徳島市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,240 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	38	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	335	79.2	76.2	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	335	79.2	76.2	76.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.4	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	258,554	
決算規模(千円)	96,466,589	
標準財政規模(千円)	54,013,006	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	72.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.9
修正医業収支金額(千円)	8,803,796

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,683,502			
1 経常収益	10,681,533			
(1) 医業収益	9,243,026			
入院収益	6,237,809			
外来収益	2,303,410			
診療収入計	8,541,219			
その他医業収益	701,807			
(うち他会計負担金)	439,230			
(2) 医業外収益	1,438,507			
(うち国・都道府県補助金)	38,700			
(うち他会計補助・負担金)	783,277			
(うち長期前受金戻入)	527,209			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,969			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,504,167			
2 経常費用	10,475,217			
(1) 医業費用	9,903,191			
職員給与費	4,842,680	52.4	56.0	57.1
材料費	2,439,764	26.4	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,231,620	13.3	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,206,327	13.1	11.1	11.4
減価償却費	895,221	9.7	9.2	9.5
経費	1,685,753	18.2	23.2	22.0
(うち委託料)	985,710	10.7	11.3	10.8
研究研修費	35,486			
資産減耗費	4,287			
(2) 医業外費用	572,026			
(うち支払利息)	262,161	2.8	1.6	1.6
(3) 特別損失	28,950			
損益				
経常損益	206,316			
純損益	179,335			
累積欠損金	9,715,148			
経常収支比率	102.0		98.2	96.7
医業収支比率	93.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	90.3		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,500,106
1 固定資産	11,604,636
(1) 有形固定資産	11,600,740
(2) 無形固定資産	3,896
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,895,470
(1) 現金及び預金	1,481,557
(2) 未収金及び未収収益	1,408,389
(3) 貸倒引当金()	25,140
(4) 貯蔵品	30,564
3 繰延資産	-
負債合計	18,422,903
1 固定負債	15,081,871
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,742,775
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,330,446
(7) リース債務	8,650
2 流動負債	3,114,439
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	958,858
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	288,885
(6) リース債務	11,709
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,825,427
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	226,593
(1) 長期前受金	3,236,464
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,009,871
資本合計	-3,922,797
1 資本金	2,681,502
2 剰余金	-6,604,299
(1) 資本金剰余金	3,110,849
(2) 利益剰余金	-9,715,148
負債・資本合計	14,500,106
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	3,922,797
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,696,204
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,222,507	1,222,507
資本勘定繰入	560,182	560,182
計	1,782,689	1,782,689

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	105.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	三好市
				病院名	三野病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,537 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	3	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	60	71.6	83.7	80.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	71.6	83.7	80.8
平均在院日数(一般病床のみ)		40.8	36.4	33.6

設立団体の状況		
人口(人)	26,836	
決算規模(千円)	23,113,267	
標準財政規模(千円)	14,036,547	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.0
修正医業収支金額(千円)	719,018

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	865,234			
1 経常収益	865,074			
(1) 医業収益	729,064			
入院収益	436,967			
外来収益	233,873			
診療収入計	670,840			
その他医業収益	58,224			
(うち他会計負担金)	10,046			
(2) 医業外収益	136,010			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	77,507			
(うち長期前受金戻入)	52,304			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	160			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	933,605			
2 経常費用	932,602			
(1) 医業費用	888,085			
職員給与費	484,523	66.5	56.0	71.8
材料費	130,127	17.8	24.1	16.5
(うち薬品費)	101,566	13.9	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,531	3.8	11.1	5.6
減価償却費	93,668	12.8	9.2	12.2
経費	177,892	24.4	23.2	31.2
(うち委託料)	89,916	12.3	11.3	12.3
研究研修費	1,379			
資産減耗費	496			
(2) 医業外費用	44,517			
(うち支払利息)	17,825	2.4	1.6	1.9
(3) 特別損失	1,003			
損益				
経常損益	-67,528			
純損益	-68,371			
累積欠損金	109,740			
経常収支比率	92.8		98.2	97.1
医業収支比率	82.1		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	83.4		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,275,468
1 固定資産	980,644
(1) 有形固定資産	932,915
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	47,729
2 流動資産	294,824
(1) 現金及び預金	214,222
(2) 未収金及び未収収益	72,256
(3) 貸倒引当金()	448
(4) 貯蔵品	8,794
3 繰延資産	-
負債合計	1,293,192
1 固定負債	925,140
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	924,130
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1,010
2 流動負債	130,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	48,384
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,226
(6) リース債務	1,010
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	54,761
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	237,671
(1) 長期前受金	779,886
(2) 長期前受金収益化累計額()	542,215
資本合計	-17,724
1 資本金	91,816
2 剰余金	-109,540
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-109,540
負債・資本合計	1,275,468
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	17,724
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	109,887	87,553
資本勘定繰入	25,178	25,967
計	135,065	113,520

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	徳島県
	市町村・組合名	勝浦町
	病院名	国保勝浦病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,495 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	60	55.0	59.0	58.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	55.0	59.0	58.3
平均在院日数(一般病床のみ)		39.0	36.0	35.8

設立団体の状況		
人口(人)	5,301	
決算規模(千円)	3,655,298	
標準財政規模(千円)	2,277,665	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	78.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.2
修正医業収支金額(千円)	467,851

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	643,635			
1 経常収益	643,635			
(1) 医業収益	467,851			
入院収益	269,943			
外来収益	168,221			
診療収入計	438,164			
その他医業収益	29,687			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	175,784			
(うち国・都道府県補助金)	253			
(うち他会計補助・負担金)	157,066			
(うち長期前受金戻入)	11,889			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	642,127			
2 経常費用	641,583			
(1) 医業費用	621,980			
職員給与費	425,395	90.9	56.0	71.8
材料費	54,312	11.6	24.1	16.5
(うち薬品費)	37,429	8.0	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,186	2.6	11.1	5.6
減価償却費	23,968	5.1	9.2	12.2
経費	117,319	25.1	23.2	31.2
(うち委託料)	53,993	11.5	11.3	12.3
研究研修費	559			
資産減耗費	427			
(2) 医業外費用	19,603			
(うち支払利息)	1,699	0.4	1.6	1.9
(3) 特別損失	544			
損益				
経常損益	2,052			
純損益	1,508			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		98.2	97.1
医業収支比率	75.2		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	24.4		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	33.6		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	24.4		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	75.8		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,678,561
1 固定資産	555,851
(1) 有形固定資産	554,714
(2) 無形固定資産	1,137
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,122,710
(1) 現金及び預金	1,063,949
(2) 未収金及び未収収益	56,204
(3) 貸倒引当金()	399
(4) 貯蔵品	2,956
3 繰延資産	-
負債合計	688,342
1 固定負債	461,792
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,562
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	405,230
(7) リース債務	-
2 流動負債	72,279
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,682
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,159
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,434
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	154,271
(1) 長期前受金	419,468
(2) 長期前受金収益化累計額()	265,197
資本合計	990,219
1 資本金	835,383
2 剰余金	154,836
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	154,836
負債・資本合計	1,678,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	154,677	157,066
資本勘定繰入	28,266	30,384
計	182,943	187,450

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	那賀町
				病院名	那賀町立上那賀病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,432 m ²	指定病院の状況	へ		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	63.0	61.4	72.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	63.0	61.4	72.7
平均在院日数（一般病床のみ）		16.0	15.0	17.3

設立団体の状況		
人口（人）	8,402	
決算規模（千円）	12,286,342	
標準財政規模（千円）	6,119,774	
財政力指数	0.16	
経常収支比率（%）	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.2
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	68.3
修正医業収支金額（千円）	421,044

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	541,868			
1 経常収益	541,868			
(1) 医業収益	424,044			
入院収益	257,131			
外来収益	135,668			
診療収入計	392,799			
その他医業収益	31,245			
(うち他会計負担金)	3,000			
(2) 医業外収益	117,824			
(うち国・都道府県補助金)	581			
(うち他会計補助・負担金)	102,711			
(うち長期前受金戻入)	7,874			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	627,078			
2 経常費用	627,078			
(1) 医業費用	616,253			
職員給与費	416,142	98.1	56.0	81.3
材料費	70,827	16.7	24.1	14.4
(うち薬品費)	43,241	10.2	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,586	6.5	11.1	5.1
減価償却費	40,732	9.6	9.2	13.4
経費	84,921	20.0	23.2	47.5
(うち委託料)	54,819	12.9	11.3	20.0
研究研修費	368			
資産減耗費	3,263			
(2) 医業外費用	10,825			
(うち支払利息)	10,825	2.6	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-85,210			
純損益	-85,210			
累積欠損金	1,199,819			
経常収支比率	86.4		98.2	96.3
医業収支比率	68.8		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	24.9		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	19.5		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	69.6		86.0	64.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	667,901
1 固定資産	415,245
(1) 有形固定資産	415,245
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	252,656
(1) 現金及び預金	64,860
(2) 未収金及び未収収益	166,330
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	12,536
3 繰延資産	-
負債合計	465,577
1 固定負債	305,044
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	305,044
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	102,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,520
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,943
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,716
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	58,354
(1) 長期前受金	185,968
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	127,614
資本合計	202,324
1 資本金	1,402,143
2 剰余金	-1,199,819
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,199,819
負債・資本合計	667,901
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	91,873	105,711
資本勘定繰入	28,711	43,691
計	120,584	149,402

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	282.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	徳島県
	市町村・組合名	美波町
	病院名	国保美波病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,531 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	47.7	55.2	56.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	47.7	55.2	56.9
平均在院日数（一般病床のみ）		18.5	19.6	22.1

設立団体の状況		
人口(人)	7,092	
決算規模(千円)	6,125,468	
標準財政規模(千円)	3,474,612	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.8
修正医業収支金額(千円)	458,776

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	729,454			
1 経常収益	729,193			
(1) 医業収益	496,767			
入院収益	219,861			
外来収益	227,693			
診療収入計	447,554			
その他医業収益	49,213			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	232,426			
(うち国・都道府県補助金)	116			
(うち他会計補助・負担金)	187,871			
(うち長期前受金戻入)	30,689			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	261			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	831,529			
2 経常費用	831,499			
(1) 医業費用	808,226			
職員給与費	388,742	78.3	56.0	71.8
材料費	133,026	26.8	24.1	16.5
(うち薬品費)	111,518	22.4	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,462	3.3	11.1	5.6
減価償却費	123,406	24.8	9.2	12.2
経費	162,562	32.7	23.2	31.2
(うち委託料)	44,678	9.0	11.3	12.3
研究研修費	490			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	23,273			
(うち支払利息)	4,916	1.0	1.6	1.9
(3) 特別損失	30			
損益				
経常損益	-102,306			
純損益	-102,075			
累積欠損金	228,237			
経常収支比率	87.7		98.2	97.1
医業収支比率	61.5		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	31.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	45.5		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	31.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	60.5		86.0	74.9

備考：
 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,783,675
1 固定資産	2,369,849
(1) 有形固定資産	2,369,849
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	413,826
(1) 現金及び預金	322,158
(2) 未収金及び未収収益	85,546
(3) 貸倒引当金()	353
(4) 貯蔵品	6,475
3 繰延資産	-
負債合計	2,067,895
1 固定負債	1,088,158
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,088,158
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	118,342
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,814
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,483
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,045
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	861,395
(1) 長期前受金	962,902
(2) 長期前受金収益化累計額()	101,507
資本合計	715,780
1 資本金	934,342
2 剰余金	-218,562
(1) 資本金剰余金	9,675
(2) 利益剰余金	-228,237
負債・資本合計	2,783,675
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	126,284	225,862
資本勘定繰入	18,027	18,027
計	144,311	243,889

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	海陽町
				病院名	海南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,366 m ²	指定病院の状況	救 災 輪		
診療科数	4	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	45	35.8	42.8	49.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	35.8	42.8	49.9
平均在院日数（一般病床のみ）		19.8	20.4	17.8

設立団体の状況		
人口（人）	9,283	
決算規模（千円）	7,442,175	
標準財政規模（千円）	4,760,655	
財政力指数	0.19	
経常収支比率（%）	83.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	1.2
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	47.6
修正医業収支金額（千円）	242,535

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	467,248			
1 経常収益	465,752			
(1) 医業収益	242,535			
入院収益	150,947			
外来収益	74,570			
診療収入計	225,517			
その他医業収益	17,018			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	223,217			
(うち国・都道府県補助金)	4,659			
(うち他会計補助・負担金)	209,975			
(うち長期前受金戻入)	6,326			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,496			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	525,273			
2 経常費用	525,273			
(1) 医業費用	509,828			
職員給与費	284,639	117.4	56.0	81.3
材料費	26,307	10.8	24.1	14.4
(うち薬品費)	15,565	6.4	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	6,395	2.6	11.1	5.1
減価償却費	52,861	21.8	9.2	13.4
経費	144,902	59.7	23.2	47.5
(うち委託料)	53,028	21.9	11.3	20.0
研究研修費	700			
資産減耗費	419			
(2) 医業外費用	15,445			
(うち支払利息)	5,806	2.4	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-59,521			
純損益	-58,025			
累積欠損金	525,553			
経常収支比率	88.7		98.2	96.3
医業収支比率	47.6		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	45.1		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	86.6		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	44.9		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	48.7		86.0	64.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	968,602
1 固定資産	900,360
(1) 有形固定資産	896,330
(2) 無形固定資産	4,030
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	68,242
(1) 現金及び預金	31,015
(2) 未収金及び未収収益	34,825
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	2,402
3 繰延資産	-
負債合計	523,772
1 固定負債	364,074
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	350,290
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	13,784
2 流動負債	67,564
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,740
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,217
(6) リース債務	11,028
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,579
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	92,134
(1) 長期前受金	233,160
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	141,026
資本合計	444,830
1 資本金	938,674
2 剰余金	-493,844
(1) 資本金剰余金	31,709
(2) 利益剰余金	-525,553
負債・資本合計	968,602
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,542	209,975
資本勘定繰入	27,129	43,691
計	234,671	253,666

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	216.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	つるぎ町
				病院名	つるぎ町立半田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,311 m ²	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	120	72.2	81.6	83.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	72.2	81.6	83.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	18.1	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	8,927	
決算規模(千円)	8,404,232	
標準財政規模(千円)	4,994,918	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	101.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	30.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.9
修正医業収支金額(千円)	2,094,783

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,365,814			
1 経常収益	2,358,852			
(1) 医業収益	2,188,660			
入院収益	1,146,861			
外来収益	869,122			
診療収入計	2,015,983			
その他医業収益	172,677			
(うち他会計負担金)	93,877			
(2) 医業外収益	170,192			
(うち国・都道府県補助金)	4,397			
(うち他会計補助・負担金)	96,520			
(うち長期前受金戻入)	39,193			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,962			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,420,427			
2 経常費用	2,418,529			
(1) 医業費用	2,303,248			
職員給与費	1,333,973	60.9	56.0	61.8
材料費	342,320	15.6	24.1	17.7
(うち薬品費)	192,190	8.8	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	135,369	6.2	11.1	8.2
減価償却費	156,992	7.2	9.2	10.4
経費	448,880	20.5	23.2	29.9
(うち委託料)	146,248	6.7	11.3	12.9
研究研修費	7,872			
資産減耗費	13,211			
(2) 医業外費用	115,281			
(うち支払利息)	36,937	1.7	1.6	1.7
(3) 特別損失	1,898			
損益				
経常損益	-59,677			
純損益	-54,613			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.5		98.2	96.7
医業収支比率	95.0		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	89.7		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,824,719
1 固定資産	4,262,501
(1) 有形固定資産	4,200,827
(2) 無形固定資産	122
(3) 投資その他の資産	61,552
2 流動資産	562,218
(1) 現金及び預金	66,259
(2) 未収金及び未収収益	464,870
(3) 貸倒引当金()	954
(4) 貯蔵品	32,043
3 繰延資産	-
負債合計	2,774,557
1 固定負債	1,789,568
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,747,309
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	42,259
2 流動負債	407,594
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	187,499
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,151
(6) リース債務	23,685
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	107,259
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	577,395
(1) 長期前受金	1,934,267
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,356,872
資本合計	2,050,162
1 資本金	1,414,297
2 剰余金	635,865
(1) 資本金剰余金	1,871
(2) 利益剰余金	633,994
負債・資本合計	4,824,719
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,262	190,397
資本勘定繰入	106,501	9,603
計	313,763	200,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。